



報道発表

2017年10月17日

イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田 浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるティエムファクトリ株式会社（以下、ティエムファクトリ）（本社：東京都港区、代表取締役：山地正洋）に対する投資を実行いたしました。

○ティエムファクトリへの投資実行について

ティエムファクトリは、透明な断熱材であるエアロゲルに関する研究開発を主力事業とするベンチャー企業です。このエアロゲルは、京都大学大学院理学研究科の中西和樹准教授らとの共同研究により発明された新規素材で、住宅、工場、電気製品、自動車、航空機など幅広い分野での応用が期待されています。

透明部分からの熱損失は省エネルギー社会を実現する上で大きな課題となっていますが、透明性と高断熱性を同時に実現できる素材は、いまだに一般社会には普及していません。透明断熱材の一種であるエアロゲルに関しては、国内外で複数の企業やグループが研究開発に取り組んでいますが、生産効率や製造コストが実用化レベルにまで達していないのが現状です。

そうした中、ティエムファクトリは独自の製造工程を確立したことで、世界で初めてエアロゲルを普及可能なコストで製造することに成功しています。ティエムファクトリ製のエアロゲルは、断熱サッシ、断熱壁、断熱塗料、自動車や航空機の断熱窓など数多くの製品への展開が可能です。

ティエムファクトリは現在、大手化学品メーカーと提携関係を構築するなど、エアロゲルの大量生産に向けた準備を進めています。また、本年 8 月には「大学発ベンチャー表彰 2017」において経済産業大臣賞を受賞しました。京都 iCAP では、京都大学の研究成果から生まれたこの新素材が、省エネルギー社会の実現に寄与する可能性に期待し、総額 1 億円の資金調達に応じ、5,000 万円の投資を実行しました。

ティエムファクトリ株式会社 概要

設立	2012年11月
事業内容	透明断熱材（エアロゲル）の研究開発
本社所在地	東京都港区
代表取締役	山地 正洋



○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014 年 12 月に国立大学法人京都大学の 100%出資子会社として設立されました。当社は、2016 年 1 月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間 15 年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部：楠美公 管理部：天野真証
TEL：075-753-5303 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp